

単位PTA名	会長名	校長名
宗像市立玄海小学校PTA	中野 和久	大江 正徳
実施形態	全校：7学級、児童数136人	
実施率	実施した児童・生徒数：136人、実施率100%	
実施期間	平成19年7月～20年2月まで 強化週間 ① 9月 6日～ 9月12日 ② 10月29日～11月 4日 ③ 1月10日～ 1月16日	
単Pの特色	<p>学校行事やPTA活動等への参加も多く、協力的である。保護者・地域のボランティア組織「匠の会」が菊づくりを始め、読み聞かせ、栽培、学習体験等の活発な学校支援を行っている。18年度からは、PTAと田島・神湊のコミュニティが協力し、「子ども見守り・あいさつ隊」を結成し、地域をあげての安全対策をとっている。</p> <p>小学校の教育目標「豊かな心を持ち、自ら学びたくましい子どもの育成」の達成を旨とし、学校・家庭・地域が連携し、児童の健全育成に取り組んでいる。</p>	

1 事業のねらい

家庭や地域での挨拶があまりできていなかったり、就寝時刻が10時を過ぎていたり基本的な生活習慣や規範意識が身につけていない子どもが少なくない。保護者の願いは言うまでもなく、学力をしっかりと身につけ、友達と仲良くし、健康で学校生活や家庭生活を送ることにある。学力や豊かな心を育むためには、規則正しい生活習慣のある家庭生活が何よりも重要である。

そこでアンビシャスふくおか家庭教育宣言事業（我が家の家訓事業）を通して、児童が保護者と一緒になって自分のめあてに向かって継続的に取り組むことで、学校生活・社会生活の基盤となる基本的な生活習慣を身につけ、自主性・社会性を伸ばし、家庭生活の充実を図ることをねらいとする。

2 実施経過

4月12日（木）	PTA新旧評議員会（取り組みの方針・内容の確認）
4月21日（土）	PTA総会にて「家庭教育宣言」の概要説明
6月 2日（土）	PTA運営委員会にて具体的な取り組み内容の検討
7月 3日（火）	教育講演会開催：講師「熊丸 みつ子 先生」 テーマ：「すてきな子どもたちへ 今伝えたいこと」
7月 4日（水）	取り組み内容の紹介と事前アンケート実施（全家庭）
9月 4日（火）	事前アンケートの集計・分析報告
9月 6日（木）	第1回強化週間「がんばりカード①」に取り組む
～12日（水）	『ぼく・わたしのがんばる3つの目標』
10月29日（月）	第2回強化週間「がんばりカード②」に取り組む
～11月 4日（日）	
11月13日（火）	家庭教育宣言運動アンケート実施（全家庭）
11月30日（金）	事後アンケート結果報告（県P・保護者）
1月10日（木）	第3回強化週間「がんばりカード③」に取り組む
～16日（水）	
2月中旬	PTA新聞でアンケート集計の報告及び児童、保護者の声を紹介

3 具体的な事業の内容

① 保護者へ家庭教育宣言の趣旨を説明する「教育講演会」実施



○7月3日（火曜日）

講師：熊丸 みつ子 先生（県家庭教育アドバイザー）

演題：「すてきな子どもたちへ 今伝えたいこと」

～親として 大人として 地域として～

子どもの心の問題や親子の関わり、良さを伸ばすこと、大人が正しく規範（模範）を示すことの大切さなど「家庭教育宣言」が目指そうとする家庭や家族を問い直すことへのよい機会となった。

② 家庭教育宣言運動（我が家の家訓事業）実施

各家庭で3つの家訓（努力目標）を決め、その実現にむけて家庭で一緒になって取り組む。「あいさつをきちんとする」は全家庭の共通目標とし、他の2つの目標については、親子で話し合っ決めて、『ぼく・わたしががんばる3つの目標』とし取り組む。

実施期間中に3回強化週間を設け、がんばりカードに記録し、意欲化を図る。



9月6日～9月12日 第1回強化週間「がんばりカード①」
 10月29日～11月4日 第2回強化週間「がんばりカード②」
 1月10日～1月16日 第3回強化週間「がんばりカード③」

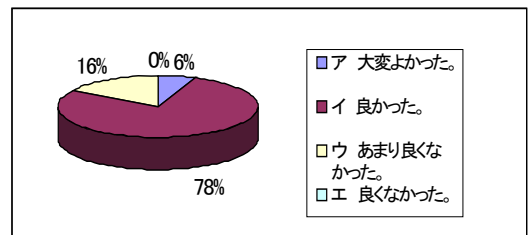
【児童・保護者の感想】

- ・めあてが達成できてよかったです。このまま続けていきたいと思えます。（5年 男児）
- ・あいさつをすると気持ちがいいです。（1年 男児）
- ・最初はできない日があったけど、あとからはできるようにがんばりました。（4年 女児）
- ・本人の意識づけになり、親が声をかけてすぐ実行することができました。大変よかったですと思えます。（2年 親）
- ・お手伝いはよくがんばってくれています。ありがとう。（3年 親）

4 成果

【資料1—家庭教育宣言をしてよかったですか？】

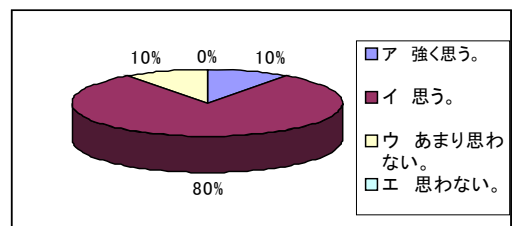
- アンケートを集約することで、子ども達や家庭の実態を把握することができた。
- がんばりカードの取り組みを通して、児童の生活リズムや主体性が高まってきた。
- 資料1からも84%の保護者がやってよかったですと答えている。また、資料2では、90%が今後も続けようと思っている。家庭教育力の向上を図るよい機会になった。



【資料2—今後も続けようと思えますか？】

5 課題

- 児童・保護者の頑張りを見るために、がんばりカードへの記入を実施したが、2回目は回収が低かった。取り組みの定着を図っていきたい。
- 家庭教育学級を再度開催し、取り組みの成果を共有化するなどして、全家庭へ取り組みの意義を広めていきたい。



単位PTA名	会長名	校長名
筑紫野市立山家小学校PTA	石丸 嘉明	石丸 明彦
実施形態	全校：6学級、児童数：176人	
実施率	実施した児童数：176人、実施率：100%	
実施期間	平成19年5月～平成19年10月30日 第1期 平成19年7月23日～7月29日 第2期 平成19年10月1日～10月7日	
単Pの特色	筑紫野市の東部に位置し、古くは江戸時代、長崎街道・薩摩街道・日田街道等の宿場町として栄え、自然豊かな環境を生かした「ふるさと教育」に力を入れ、学校と地域と家庭（PTA）が一体となり、子どもの健全な育成に力を入れている。また、筑山中学校区の連携も進み、PTA交流活動や「三校友愛セール・友愛まつり」等の事業を展開している。	

1 事業のねらい

昨年度、保護者アンケート結果より、「地域であいさつができていないか。」の質問項目で、できていると認識している保護者が56%と、以前に比べて子どもたちが地域であいさつができていないことが課題となった。そこで、本年度PTAのテーマを「笑顔であいさつ、ふるさと山家」と設定し、「地域・家庭挨拶運動」を通して、親子のふれ合い、そして、山家のよさである地域のふれ合いづくりを、PTA活動を通してさらに深めていく。

また、児童の生活アンケート結果から、テレビやゲームに接する時間が平日で1日3時間以上という児童が全体で25%、10時までに寝ている児童が、4年生76%、5年生70%、6年生66%と低く、基本的な生活習慣が十分身につけていない児童がおり、家庭生活の在り方を見直し、基本的な生活習慣を改善していく重要性を感じた。そこで、家族が協力して達成をめざすアンビシャスふくおか家庭教育宣言事業を推進し、基本的な生活習慣の確立をめざす。

2 実施経過

4月12日	第1回実行委員会 取組について協議、実施計画案の作成
4月20日	PTA総会で家庭教育宣言事業について概要を説明
6月14日	第2回実行委員会 研修会講師選定・依頼、啓発用プリントの作成
6月15日	家庭教育宣言についての事前アンケート実施 あいさつ運動開始
7月 4日	第1回教育講演会の実施 講師 筑山中学校校長 久原 寛 先生 演 題 『子育てのポイント』～中学校から見た山家の子どもたち～
7月13日	第3回実行委員会 親子の約束ノート作成
7月23日～	第1期親子の約束ノート取組実施〔終了後集計・分析・課題把握〕
10月 1日～	第2期親子の約束ノート取組実施〔終了後集計・分析・課題把握〕
10月14日	第2回教育講演会の実施 講師 西日本短期大学附属高校 竹島 由美子・西村 慎太郎 先生 演 題 『体験から生まれる言葉が生きる力になる』
10月31日	第4回実行委員会 アンケート集約、取組の成果・課題のまとめ

3 具体的な事業の内容

(1) 地域・家庭あいさつ運動の取組

本年度の課題である「あいさつ」について、6月より、5つの地区で毎朝の交通指導とともに、地域・家庭あいさつ運動が始まった。さらに、区長会、老人会の協力を得て、地域で子どもたちも進んであいさつができるようになっていった。第2回「山家小を考える会」の中で、地域の皆様よりあいさつができるようになった姿が多く報告された。

朝のあいさつ運動の様子



(2) 第1回教育講演会〈久原 寛 校長先生〉

中学校から見た子育てのポイントを中学校の事例をもとに話して頂いた。基本的な生活習慣の定着が基本であり、特に、家庭学習・宿題等、小学校と家庭が徹底し習慣化して欲しいという内容であった。

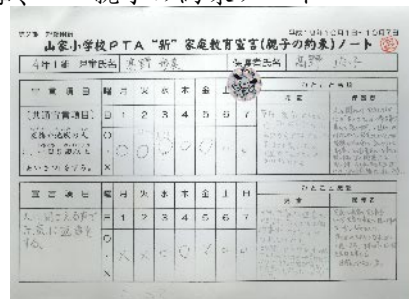
第2回教育講演会の様子



(3) 第2回教育講演会〈竹島 由美子・西村 慎太郎 先生〉

日曜参観日に実施し、参加者は約80人。夢と情熱そして信念を持って、生徒一人一人と正面から向かい合う姿に教育の本質を感じた。そして、大人が一生懸命に生きていく事、責任をもった生き方を示す事等の大切を学んだ。

親子の約束ノート



(4) 親子の約束ノートの取組

親子の約束ノートは、第1期と第2期それぞれ1週間ずつ取り組み、集約後、取組の状況を報告した。宣言項目は2つ設定し、1つは共通宣言項目「家族や地域の人に一日5回以上あいさつする。」で、山家小PTAの努力目標、もう1つは家族と相談し決定した目標。

〔宣言項目例、子どもの感想〕

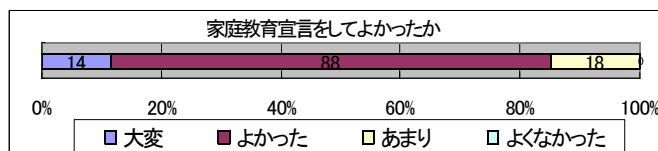
- ・10時までに寝る ・手伝い一日2回 ・食後の片づけ ・宿題は集中し1時間以上
- 地域の人に自然にあいさつできるようになった。
- ゲームをしないで、読書ができて良かったと思った。
- 朝食をきちんと取り、朝がとても気持ちよかった。

〈親子の約束ノート、家庭教育宣言を実施した保護者の感想〉

- できるだけ自分でやれることは頑張って自分でやろうね。話し合っって目標を決めました。今まで「ママー」って言っていたことも頑張ってやりました。
- 目標を達成しようとする姿勢が自発的に見られ、良かったと思いました。
- これからも、「これをがんばろう」という目標を決めて、子ども自身が前向きに生活していけたらいいと思います。大変良い取組だったと思います。
- なかなか思い通りにやれず、面倒に感じる事もありましたが、今では、親子の約束ノートの取組がきっかけとなり、手伝いを決めて頑張ってくれています。

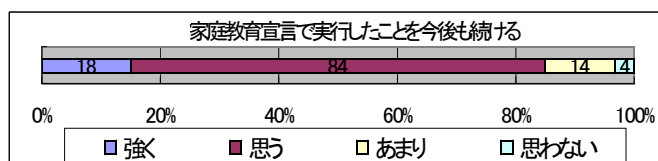
4 成果

- 85%の保護者が、家庭教育宣言について肯定的に受け止め、今後も続けることを望んでいる。
- 親子の交流ができ、基本的な生活習慣の見直しから改善につなげていく取組ができ、成果も上がった。



5 課題

- 学級PTAの取組まで広げる事ができず、取組成果の交流が十分にできなかった。



- 広報委員会や各委員会との連携した取組が十分にできず、啓発活動をはじめ取組の継続や習慣化を進める上で十分に機能させる事ができなかった。

単位PTA名	会長名	校長名
鞍手町立室木小学校PTA	能登原 靖 史	小 宮 順 一
実施形態	全校：6学級（全校児童 58名）	
実施率	実施した児童数 58名 実施率100%	
実施時期	第1期 平成19年 6月 4日～ 6月10日 第2期 平成19年10月15日～10月21日 第3期 平成20年 2月 4日～ 2月10日	
単Pの特色	PTAの会員数は少ないが、学校の教育活動や行事に対する参加率は高く、協力的である。夏休みの「校内親子ふれあいキャンプ」の取組など、子どもたちとのふれあいを大切にしたPTA活動に努めている。交通安全週間も設定し、児童の安全対策にも積極的に取り組んでいる。PTA広報誌「むろき」は、熱心な取材活動を通して、学校の特色ある教育活動やPTA活動を紹介したり、家庭教育運動の啓発をしたり、学校と家庭、家庭と家庭との掛け橋的な役割を果たしている。	

1 事業のねらい

本校でも、基本的な生活習慣に関するアンケート調査の結果、夜更かしをしている子ども、なかなか朝起きられない子ども、朝食抜きがちな子どもの存在が明らかになっている。このような実態に対して、PTA活動として各学期に「親子ふれあい週間」を設定し、各家庭が目標を設定したり、親子で取り組んだりすることによって、「早ね・早起き・朝ご飯」の基本的な生活リズムの確立を目指すとともに、親子のふれあいを一層深めたいと考えている。

2 実施計画

4月21日	PTA総会において「親子ふれあい週間」の趣旨説明
5月12日	実行委員会 ・「親子ふれあい週間」の取組についての協議
6月 1日	学校通信、PTA広報誌による啓発
6月 4日	
～ 6月10日	第1期「親子ふれあい週間」の取組（全家庭）
6月25日	実行委員会 ・第1期「親子ふれあい週間」の振り返り
10月15日	
～ 10月21日	第2期「親子ふれあい週間」の取組（全家庭）
10月29日	実行委員会 ・第2期「親子ふれあい週間」の振り返り
11月 4日	家庭教育講演会の実施 ※全児童及び保護者の参加 演 題 「すてきな子どもたちに 伝えたいこと」 講 師 熊丸 みつ子先生
11月15日	新家庭教育宣言事後アンケート配布
11月23日	新家庭教育宣言事後アンケート回収
12月 3日	実行委員会 ・家庭教育宣言の成果と課題の検討
12月20日	家庭教育宣言の取組の結果を保護者に配布

3 具体的な事業の内容

(1) 「親子ふれあい週間」の取組

① 事前の取組

- P T A 役員会を中心に、「親子ふれあい週間」に向けての取組を検討した。
- P T A 総会において、P T A 会長が下記のような「親子ふれあい週間」への取組の趣旨や手順について説明した。

- ① 「親子ふれあい週間」の趣旨や期間を説明する。
- ② 「親子ふれあい週間」の取組について説明する。※「がんばりカード」の記録
- ③ 「親子ふれあい週間」の目標を親子で相談して決定し、取り組む。
- ④ 「親子ふれあい週間」の振り返りを記入し、学校へ提出する。※保護者用・児童用

- 広報委員会と連携し、P T A 広報誌で「親子ふれあい週間」の啓発を図った。

② 「親子ふれあい週間」の取組

- 「親子ふれあい週間」の手順と「がんばりカード」を配布した。
- 「親子ふれあい週間」(1週間)の取組を第1期・第2期・第3期と実施した。
- 「親子ふれあい週間」の実際の目標例

() 時までには就寝・() 時までには起床・挨拶をする・朝食を食べる・部屋の片付け・お手伝いをする・テレビを() 時間以内・自主学習をする・本を読む・ゲームを() 時間以内・残さず食べる・よくかんで食べる・生き物の世話 等

- 「親子ふれあい週間」の保護者の感想

・めあてを決めるのに時間がかかりましたが、自信がついたようです。苦手なことも自分から進んでしていました。

・この1週間、とってもがんばりました。おじいちゃんの協力もあり、何とか、早ね、早起きができました。これからも、このままの目標でがんばってほしいです。

・がんばりカードを意識して目標を達成しようとがんばりました。ただ、この一週間で終わりではなく、ずっと続けてほしいと思います。

・今回もよくがんばったね。でも、お手伝いは言わないとしてくれない。自分から進んでしてくれたらうれしいなっ。宿題をするときはテレビを消そうよ。

③ 事後の取組

- 「親子ふれあい週間」のがんばりカードを回収し、児童や保護者の感想をまとめ「親子ふれあい通信」として発行した。
- P T A 実行委員会において、結果や振り返りの感想を元に、保護者同士で交流した。

(2) 家庭教育講演会の開催

- 11月4日(日)の日曜参観にあわせて、下記のように「家庭教育講演会」を開催した。この講演会には、保護者だけでなく児童も全員参加し、「いのちの大切さ」について、親子で考えることができた。

【演題】「すてきな子どもたちに 伝えたいこと」 【講師】熊丸 みつ子先生

- 保護者の感想

・とってもおもしろく話に引き込まれていくのが、自分でもわかりました。あんなことを言っているとか、子どもはこんなことをしているとか、もう一度、自分たちのこと、子どもたちのことを振り返ることができました。とても楽しい時間でした。

4 成果

- 児童と保護者が共に基本的な生活習慣などを意識して、取り組むことができた。
- 親子で目標を話し合ったり取組をしたりする中で、親子でふれあう機会が増えた。

5 課題

- 取り組む家庭の割合は高いが、さらに全家庭が取り組めるような啓発が必要である。
- 基本的な生活習慣の確立のために、重点目標等の設定について検討する必要がある。

単位PTA名	会長名	校長名
小竹町立小竹中学校PTA	大場康司	末松和義
実施形態	全校：7学級、生徒数：220名	
実施率	(実施した生徒数) 220名 実施率 100%	
実施期間	第1期 9月4日(火)～9月10日(月) 第2期 10月15日(月)～10月19日(金) 第3期 1月9日(水)～1月18日(金)	
単Pの特色	・親子ふれあい活動、下校巡回運動、美化活動を毎学期行い、廃品回収や文化祭でのバザー協力など年間を通して活動を行い、安心できる学校、きれいな学校づくりに協力をしている。	

1 事業のねらい

- (1) 親子のふれあい(対話)活動を継続的に取り組むことで子どもの基本的な生活習慣を図る。
- (2) 学校と家庭が協力して、子どもたちの基本的習慣と規範意識の育成につとめ、家庭内の対話を一層深め、家庭教育の充実を図る契機とする。

2 実施経過

(1)	4月27日	PTA総会における「家庭教育宣言」の取組についての趣旨説明
(2)	6月13日	実施内容・実施方法の検討
(3)	7月19日	第3回PTA交流会(小竹町中央公民館 19:00～) 【講師 飯塚サポートセンター 大月 祥子さん】 *昨年筑前町で起こったいじめによる自殺後に、毎回講師を交えて「同じ中学生を持つ親としての交流会」を行っている。
(4)	9月4日	～第1期の実施 *終了後に集計
(5)	10月1日	第1期の反省と第2期の取組の協議
(6)	10月15日	～第2期の実施 *終了後に集計
(7)	11月9日	第2期の反省
(8)	12月10日	第3期の取組の協議
(9)	1月9日	～第3期の実施(予定) *終了後に集計
(10)	1月30日	第4回PTA交流会(小竹町中央公民館 19:00～) 【講師 福岡県青少年課 上野 夏雄さん】
(11)	2月6日	第3期のまとめ
(12)	3月3日	年間の取組の成果・課題等のまとめ

3 具体的な事業の内容

第1期 9月4日(火)～9月10日(月)

- 県P連作成の「親子ふれあい週間」のチラシを各家庭に配布して実施した。
- 回収期間が、1年生の宿泊体験や2年生の修学旅行を重ねたため、回収率が45%にとどまった。

第2期 10月15日(月)～10月19日(金)

○文化祭の合唱コンクール前の朝練習のため、自主的に登校時間を早め、学級単位での合唱練習を行った。

練習時間 8:00～8:20(通常は8:25)

○PTAも出勤等の前に学校へ出向き、子どもたちの参加状況や練習の様子を見学した。

生徒の参加状況 85.6%

PTAの協力者 34名



【生徒の感想】

- ・合唱コンクールで、金賞がとれて中学校生活最高の思い出ができました。朝練習をしたかいかがありました。
- ・私は、文化祭で一番頑張ったことは合唱です。クラスみんなが、朝早くから学校に来て歌っていたので、金賞が取れました。私にとって文化祭は最高でした。

【保護者の感想】

- ・最後の一週間の朝練は良かったと思います。勤務時間の関係で毎日来れませんが、子どもたちが頑張る姿がとても素晴らしかったのでいいかなと思いました。隣のクラスと良い意味で競い合っていると効果があると思いました。
- ・昨年よりずいぶん上手くなっていました。朝練の取り組みが、雰囲気も盛り上げたと思います。

第3期 1月9日(水)～1月18日(金)

○県P連作成の「親子ふれあい週間」のチラシを各家庭に配布して実施する。

○1月12日(土)～1月14日(月)の連休を除いて取組を行う。

○回収率が70%以上になるように啓発活動を行う。

4 成果

○第1期の取組の反省を生かして、第2期の文化祭前の取組では、PTAの会合やプリント等での啓発を図り、学校と家庭の連携がとれ成果が現れた。また、遅刻者も減り、充実した文化祭になった。

○親子ふれあい活動(早寝早起き朝ご飯、いじめ撲滅チェックリスト)をはじめ、本年度は、下校巡回指導や学校内の美化活動などを年間を通して取り組んだことで、PTAの方が学校に来る機会も増えた。そして、同じ中学生を持つ親としての関わり方の交流の機会が多くなった。

5 課題

○家庭教育宣言の取組を年間を通した、日常の取組としていく必要がある。

○PTA新聞などでの啓発活動をしていく必要がある。

○アンケートやチラシ等の回収がまだ不十分なので、取組を浸透させ回収率を上げる必要がある。

単位PTA名	会長名	校長名
筑前町立中牟田小学校PTA	岡松明子	藤田良治
実施形態	全校：13学級、児童数：379人	
実施率	実施した児童数：379人、実施率100%	
実施期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日	
単Pの特色	<p>本校区は、甘木朝倉地区の西玄関にあたり、古くは九州の主要道路山家街道を中心に栄えた。福岡市・久留米市の中間に位置し、両方とも1時間以内の通勤距離にあたるため都市のドーナツ化現象の影響で、農地の転用が進み宅地化され、人口も増えている状況である。</p> <p>「これからの家庭教育のあり方」について地域の中で子ども達を育てていこうと毎朝のあいさつ運動、祖父母学級、ふれあい中牟田祭りなど地域ぐるみの取り組みを進めている。</p>	

1 事業のねらい

子ども達を取り巻く環境は、常に危機に瀕している。原因は、治安の悪化はもちろんだが、家庭の教育力の低下もその一因だと思われる。子ども達は、様々な体験や学びを通して自主性、自立性、社会性、豊かな心など社会人として必要な資質や能力を身につけ成長していく。この基本的な力を培う最も重要な教育の場は家庭である。生活リズムを整える（十分な睡眠、自分で朝起きられる、朝ご飯を食べる）ことが、学力向上にもつながる。この取り組みは、親子で取り組み、親子のふれ合いも増し、家族みんなで取り組む事で家庭の教育力向上にもつながると考えた。

2 実施経過

- 4月 ・ PTA総会にて、昨年度に引き続いての家庭教育宣言事業委託決定の報告と本年度の取り組みの概要説明
活動目標～「はやね・はやおき・朝ご飯」で育てよう中牟田っ子～
- 5月 ・ 取り組みの具体的内容の検討
- 6月 ・ 家庭教育学級で「朝ご飯の大切さ」の講演会
「朝ごはんってどうして必要！」講師：筑前町栄養士 高野 多鶴子先生
- 7月 ・ 「はやね・はやおき・朝ご飯」事前アンケート実施
・ 夏休みの頑張りカード作成
- 夏休み ・ 親子で目標を決め、実践
・ 朝ご飯作り講習会（講師：筑前町栄養士 高野 多鶴子先生）
- 9月 ・ 夏休みの取り組みのまとめと認定証の作成と配布
・ 「はやね・はやおき・朝ご飯」事後アンケート実施
・ 朝ご飯アイデアレシピ募集
・ 講演会「今こそ子育ての意識改革を！～HUGと遊びと響^{きょういく}育～」
講師：橋本武夫氏（久留米聖マリア病院副院長）
・ 集まった朝ご飯アイデアレシピをまとめ、福岡県ごはん食推進委員会主催「親子で楽しむ朝ご飯コンクール」に応募
- 10月 ・ 講演会の様子・朝ご飯レシピ・アンケート結果の考察を広報紙にて報告
・ 祖父母学級にて本年度の家庭教育宣言事業の取り組みを紹介
- 12月 ・ 実施報告書作成と今後の取り組みについて
- 1月 ・ 県下一斉親子ふれ合い週間への取り組み
・ 本年度の取り組みに対するアンケート実施
- 2月 ・ アンケートの集約、考察
・ 本年度の取り組みのまとめ、来年度に向けて
- 春休み ・ 親子で目標を決め、実践

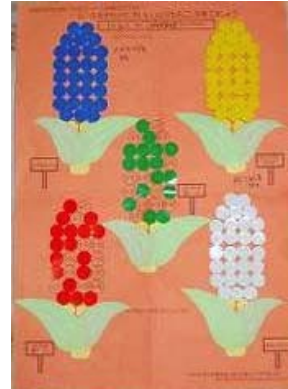
3 具体的な事業の内容

- 家庭教育学級で「朝ご飯の大切さ」の講演会開催〔平成19年6月26日（火）〕
講師に筑前町栄養士 高野多鶴子先生をお招きし、「朝ごはんってどうして必要！」と題し、朝ご飯の大切さを学ぶ。

- 夏休みの頑張りカード

学級委員会が中心となり、夏休み期間中、親子で目標を立て取り組めるように頑張りカードを作成し、各家庭で実践する。

▼頑張りカード



- 「はやね・はやおき・朝ご飯」講演会開催〔平成19年9月20日（木）〕

講師に橋本武夫氏(久留米聖マリア病院副院長)をお招きし、演題「今こそ子育ての意識改革を！～HUGと遊びと響育～」と題し、子育ての基本が家庭であること、HUGによって親子の愛情を深めることの大切さ、子どもにとっての遊びの大切さを学ぶ。100名近い参加者のみなさんも家庭教育の大切さを改めて感じ取られたようである。

- 朝ご飯作り講習会（講師：学校栄養士 高野先生）

夏休みのまっただ中、健康委員会主催で開催。講師高野先生に簡単で栄養満点の朝ご飯メニューを教えてもらい、家庭の朝ご飯として取り入れる。

親子(21家族、50名参加)で実際に調理。

【メニュー】残りご飯を使ったおやき・ところてんサラダ
カラフルオープンオムレツ・豆腐ポタージュ
デザート

▼アイデアレシピ



- 朝ご飯アイデアレシピ募集

集まったレシピは、まとめて福岡県主催「親子で楽しむ朝ご飯コンクール」に応募し、本校PTA新聞にて紹介し全会員へも広める。

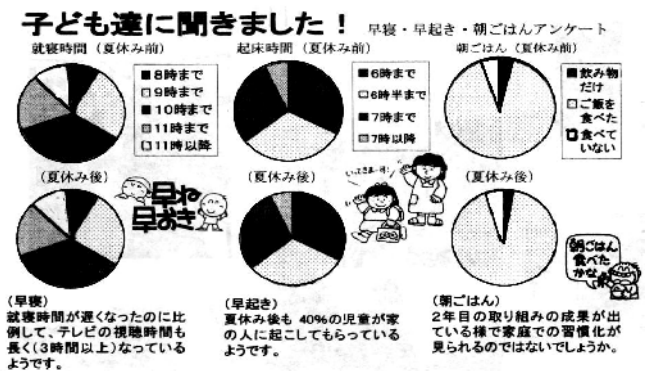
「気分しだいのパンケーキ」「肉ネギみそ」等、多数のレシピが集まる。

- 「はやね・はやおき・朝ご飯」事前事後アンケート実施

7月18日と9月18日にアンケートを実施。

朝ご飯は、家庭での習慣化が見られるが、早寝・早起きは、夏休みになると乱れがちになる。

自律起床、睡眠時間の確保、食事をきちんと食べるなど自己管理ができるように、指導の積み重ねが必要である。



▲アンケート結果の広報

4 成果

- 取り組みをはじめ2年目となり、早寝早起きの重要性に対する保護者の意識が高まってきた。また、親子での夏休みの取り組みや講演会の実施などにより、生活習慣の大切さが分かり、保護者や子どもの取り組み・行動に少しずつ変化が現れている。
- 子ども達自身が「はやね・はやおき・朝ご飯」を自覚し、努力するようになった。

5 課題

- 子ども達自身がきちんと自己管理できるように取り組みの見直しを図るとともに、親子で刺激し合いながら取り組める具体的方策を検討する必要がある。
- 継続的に自己チェックを行うなど、年間を通じて取り組みの充実を図る必要がある。

単位PTA名	会長名	校長名
朝倉市立杷木中学校PTA	伊藤 猛	堀田 秀茂
実施形態	中学校全校 3学年 7学級	
実施率	実施した生徒数234名 実施率100%	
実施期間	第1期 6月11日～6月24日(2週間) 第2期 7月23日～8月5日(2週間) 第3期 10月1日～10月14日(2週間)	
単Pの特色	保護者の教育に対する関心は高く、学校教育活動やPTA活動も積極的に取り組んでいる。PTA各委員会が中心となって地区懇談会、おやじの会、朝の郊外交通指導、資源回収、校内草刈作業、学年別親子レクリエーション、教育講演会など、年間を通して活動を行っている。また、PTA花壇を設置して、家庭と学校と地域のパイプ役として連携を深める活動にも取り組んでいる。	

1 事業のねらい

PTAでは「対話を通して豊かな心を！」を活動目標に掲げている。親子の対話、家族の対話、学校・地域の対話。この対話を、PTA活動を通して出来るだけ大きな強いものにしていくと積極的な活動を行っている。親子・家族の対話を大きくする具体的な取組みの一つとして、この家庭教育宣言に取り組んでいる。親子・家族の会話を深め、基本的生活習慣の定着・基礎学力の向上・豊かな心を育むことをねらいとする。

2 実施経過

4月13日	運営委員会にて取り組み確認
4月27日	PTA総会にて 主旨説明と承認
5月17日	運営委員会にて実行委員会設立承認(本部役員・学級委員会)
5月21日	第1回実行委員会 組織づくりと第1期の取り組みについて
5月28～29日	地区別懇談会 本年度の取り組みについて4地区で開催
6月15日	生徒会とPTAとの懇談会 取り組み主旨について説明
6月11～24日	第1期の取り組み 2週間 期末テスト前
7月5日	第2回実行委員会 1期の反省と今後の取り組みについて
7月19日	家庭教育宣言講演会の開催「子どもの自立と家庭教育のあり方」 講師 九州大谷短期大学 高田悦也 先生
7月23～8月5日	第2期の取り組み 2週間 夏休みの家庭学習と生活リズムの向上
8月28日	第3回実行委員会 2期の反省と今後の取り組みについて
10月1～14日	第3期の取り組み 2週間 中間テスト前
10月15日	事後アンケート調査の実施 生徒および保護者
10月26日	第4回実行委員会 3期の反省と本年度の総括・反省
11月29日	本年度の取り組みについての「家庭教育宣言取り組みの足跡」を作成し、 成果と課題を整理して、各家庭(保護者)へ配布

3 具体的な事業の実際

(1) 実施に向けての共通理解の方法

① 実施主体の委員会

本部役員と学級委員、学校長、教頭で家庭教育宣言実行委員会を構成

単位 P T A 名	会 長 名	校 長 名
黒木町立木屋小学校父母教師会	宇 佐 原 修	坂 田 政 大
実 施 形 態	全校：7 学級、児童数：85 名	
実 施 率	実施した児童数：85 人、実施率 100%	
実 施 期 間	平成 19 年 4 月 10 日～平成 20 年 2 月 17 日	
単 P の特色	P T A 活動の活性化と児童の基本的な生活習慣の定着に向けて、「早寝・早起き・朝ご飯」のアンビシャスふくおか家庭教育宣言事業に参加するとともに「めざせ、日本一あいさつする学校」に取り組んでいる。更に、学年ごとに P T A 活動の目標を決め、定期的に学級での話し合いを行い、実践にあたっている。	

1 事業のねらい

児童の生活を見ていると、月曜日の午前中を中心に体調を崩す子が多く、また食べ物の好き嫌いや食事に時間を掛けすぎる傾向がある。そこで、基本的な生活習慣の定着を図るために、早寝、早起きによる睡眠時間を確保した規則正しい生活と効果的な食生活づくりをめざす。

2 実施経過

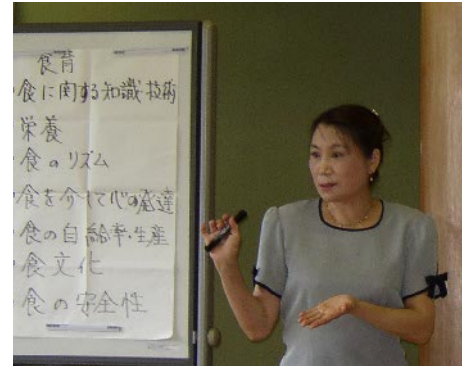
4 月 10 日	・ P T A 総会前の学級委員会で、「早寝・早起き・朝ご飯」「基本的な生活習慣の定着」について協議し、P T A として取り組むよう P T A 総会への提案を決定
4 月 12 日	・ P T A 総会時の学級 P T A で「早寝・早起き・朝ご飯」「基本的な生活習慣の定着」への取組を確認し、学級ごとに学級 P T A の目標を設置
5 月 18 日	・ 学年 P T A にて、実践状況についての情報交換
7 月	・ 食に関するアンケート調査実施
9 月 14 日	・ 食育に関する P T A 家庭教育学級開催（講演会） 福岡県家庭教育アドバイザー 一ノ瀬直子氏を招聘
9 月 4 日～9 月 10 日	・ 福岡県一斉親子ふれあい週間への参加
11 月	・ いじめ撲滅月間・・・いじめ早期発見・早期対応の取組 ※ 保護者へ「いじめ根絶リーフレット（家庭向け）」と「いじめ早期発見家庭用チェックリスト」を配付。チェックリストの回収、集計を行う。 ・ 黒木町青少年育成町民会議主催の「青少年育成について話し合うつどい」で、調査した結果や児童の状況について報告し、地域の協力と見守り活動を老人クラブをはじめとする地域住民に要請
12 月 4 日	・ 第 2 回家庭教育学級開催（講演会） 前福岡女学院大学教授 牛島達郎氏を招聘 ・ 学年 P T A にて実践状況についての情報交換
1 月 9 日～15 日	・ 福岡県一斉親子ふれあい週間への参加
2 月 17 日	・ 学年 P T A（最終）にて実践状況についての評価・反省

3 具体的な事業の内容

- ① 学年PTAで、「早寝・早起き・朝ご飯」
「基本的な生活習慣の定着」について協議
し、学年のテーマを設定して実践する。

学年PTAのテーマ	
1年	・すききらいをしないようにしよう・あいさつをしよう ・おはしを正しくもとう
2年	・食器を持って食べよう・おはしを正しく持って食べよう
3年	・三角食べを心がけよう・食事の時、姿勢をよくしよう ・嫌いな物を減らそう (料理方法を工夫して・栽培を通して)
4年	・朝ご飯をちゃんと食べよう・おはしを正しく持とう ・姿勢をよくして食べよう・好き嫌いなく食べよう
5年	・早寝・早起き・朝ご飯を続け、規則正しい生活をしよう
6年	・朝・昼・晩きちんと食べよう ・間食は量を考えて食べよう ・好き嫌いをなくし、残さず食べよう

- ② 食育に関するPTA家庭教育
学級・職員研修



福岡県家庭教育アドバイザー
一ノ瀬直子氏の食育講演会
「子どもの成長と食」
～“ごはん”って、お腹がすく
から食べるんじゃないの～

- ③ 「県下一斉親子ふれあい週間」の取組
(9月4日～9月10日 児童数85人 単位%)

学校名 黒木町立木屋小学校		会長名 宇佐原 修						
学年	取組率＝めあてに取り組んだ児童数÷学年児童数×100							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	
早寝	100	58	89	82	100	78	82	
早起き	75	67	67	82	94	74	78	
朝ごはん	100	83	67	82	61	56	69	
その他	25	92	78	55	44	93	71	

※早寝・早起き・朝ご飯・その他(個人の目標)について、具体的なめあてを設定し、その達成に向けて取り組んだ。

4 成果

- 「早寝・早起き・朝ご飯」について、児童一人一人がめあてを持って取り組んだ“親子ふれあい週間”や食に関する家庭教育学級講演会等の取組を行った。その結果、児童は基本的な生活習慣づくりへの意識を持つことができた。また、保護者からは、日常生活を改めて見直し、生活の改善を図りたいという意見が多く聞かれた。
- 学校独自に取り組んでいる摘茶活動、農協や農業青年部の支援を受けて行っている田植え・稲刈り活動、食に関する学習活動を通して、生産に関わる人々や自然への感謝の心を学ぶとともに、茶や米をはじめとする食物への関心を高めることができた。

5 課題

- 基本的な生活習慣や食生活に対する意識は、保護者だけでなく、児童にも高まりを感じる。しかし、生活の改善が図られない家庭も残っており、意識や実践での格差が見られる。そのような保護者への啓発や研修会参加への手だてを工夫しなければならない。

- ④ 学 ぶ ついて 茶 摘み・稲の栽培・食の大事さと感謝の心



単位PTA名	会長名	校長名
みやま市立山川南部小学校父母教師会	松尾 仁	江上 靖 則
実施形態	全校：7学級、児童数：66人	
実施率	実施した児童数66名・世帯数48、実施率100%	
実施期間	平成19年6月中旬～1月中旬 (5期に分けて1週間ずつ実施する。ただし夏休みはさらに、はじめ・なか・終わりの3期に分けて実施)	
単Pの特色	学校では「郷土を愛し、主体的に学ぶ心豊かでたくましい児童の育成」を教育目標とし、地域に開かれ信頼される学校づくりが行われている。 地域連携事業としては、学校・支館合同の運動会、PTA・支館地区懇談会、合同研修会等が開催されている。また、子どもの読書活動を高めるため、地域読書ボランティア「わらべ読書会」の協力で定期的な読み聞かせや夏休みの巡回図書等の取組が行われている。	

1 事業のねらい

子育て・親育ち、深めよう家族の絆！ ～考えよう 今、家庭で できること～
身に付けるべき基本的な資質・能力を培う最も重要な教育の場は、家庭である。子どもたちの明るい未来を切り開くために、改めて自らの家庭教育を見つめ直してみよう。
親の思いを子どもとともに語り合い、子どもも親も努力目標（宣言項目）を決め、語り合いながら目標を達成していこう。この地道な取組を繰り返すことで子どもたちは、大きく成長してくれると考える。

2 実施経過

6月4日(月)	PTA理事会で本事業の具体的取組協議・確認 ※昨年度から「早寝・早起き・朝ごはん」の取組の強化を図っていることを確認する。
6月8日(金)	「家庭教育宣言」広報チラシを配布 ※児童及び保護者の意識を高める。 ※児童の実態調査(アンケート)行う。 ◇6月：いじめ撲滅月間／教育相談週間の実施 <家庭教育宣言(親子の約束)ノートの取組>
【第1期】	6月11日(月)～6月24日(日)
6月27日(水)	地区懇談会・家庭教育宣言研修会 <家庭教育宣言(親子の約束)ノートの取組>
【第2期】	①7月23日(月)～8月31日(金) ②8月6日(月)～8月12日(日) ③8月27日(月)～9月2日(日)
【第3期】	9月4日(火)～9月10日(月)◇県下一斉親子ふれあい運動 ◇10月：いじめ撲滅月間／教育相談週間の実施
10月31日(水)	PTA・支館合同研修会 教育講演会「親子のコミュニケーション」講師：長阿彌幹生氏 <家庭教育宣言(親子の約束)ノートの取組>
【第4期】	12月10日(月)～12月16日(日) ※児童の実態調査(アンケート)行う。
【第5期】	1月9日(水)～1月15日(月)◇県下一斉親子ふれあい運動

3 具体的な事業の内容

家庭教育宣言（親子の約束）ノート

記録用紙 (No.6) 記録期間：平成19年9月4日(火)～9月10日(月)

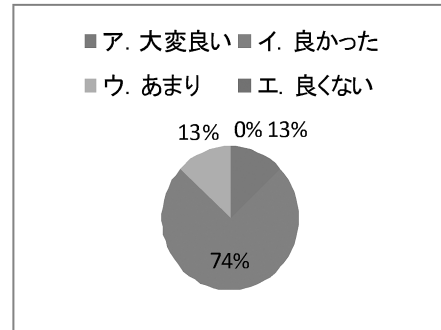
児童名：山田 花田

“新”家庭教育宣言（親子の約束）ノート

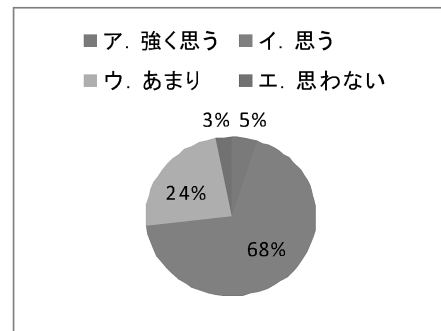
宣言項目	曜	火	水	木	金	土	日	月
<子どもの宣言> ①夕飯の時はテレビを消す (全校共通項目) ②お払い(2回) ③毎日800m走る	日	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10
	○	○	○	○	○	○	○	○
<親の宣言> ①夕飯の時はテレビを消す (全校共通項目) ②心持良く走る	日	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10
	○	○	○	○	○	○	○	○

※子ども親もよくそくをの1つ決めて下さい。親子とも親もまし合いながら取組をよろしくお願いいたします。9月11日(火)に学校へ持たせて下さい。

【親へのアンケート】
 ◇家庭教育宣言をしてよかったですか、
 と思いますか。



◇家庭教育宣言で実施したことを
 今後も続けてよいと思いますか。



- ◇ 家庭教育宣言（親子の約束）ノートの取組を年間5期に分けて定期的実施することができた。
- ◇ P T A 共通宣言事項として、夕飯の時はテレビを消すことを決めて実施することができた。
- ◇ 子どもだけでなく親も守るべき事項を宣言し、親子で励まし合いながら取り組むことができた。
- ◇ P T A と地区合同の懇談会や研修会を通して、家庭、地域ぐるみの子育てについて協議を深めることができた。

<感想：親子の約束ノートより>

【子ども】

- テレビ（夕飯の時）を毎日消すことができた。これからはがんばります。
- 前回に比べると、とても姿勢が良くなりました。
- 毎日、お母さんのお手伝いができて良かったです。
- やっぱり、10時まで寝ると次の朝がスッキリするのでこれからはがんばります。
- 食事のあいさつが、1日も忘れずにできて良かったです。
- 夕飯の時、テレビをつけっぱなしだったので、テレビを消して味わいながら夕飯を食べたいです。

【保護者】

- 毎日、子どもとラジオ体操に行き、素晴らしい一日のスタートでした。気持ちよく夏休みを終えることができました。
- 体力作りのため、1日20回スワットすることができました。
- 今週はテレビを消すのを守れず残念でした。
- 改めて、あいさつの大切さが分かったような気がします。
- “ありがとう”という言葉を一言云うだけで気持ちがいいですね。

4 成果

- 年間を通して、定期的に（親子の約束）ノートで生活を振り返り、改めて生活の中で大切にしていなくてはならない事柄についての気づきが見られた。
- 親子で約束事を決め、励まし合いながら実践したことにより親子の会話が増えた。
- 地区懇談会や教育講演会で親子の関わり方や基本的生活習慣の大切さを理解することができた。

5 課題

- 早寝・早起き・朝ご飯、夕飯時はテレビを消すこと等の習慣の定着に向けて、これからも継続した取組が必要がある。

単 位 P T A 名	会 長 名	校 長 名
福智町立上野小学校 P T A	浦 田 浩 三	岡 松 初 美
実 施 形 態	全 校	
実 施 率	実施した児童数：122名（実施率：100%）	
実 施 期 間	平成19年 7月3日～7月 9日 平成19年 9月4日～9月10日	
単 P の 特 色	本校は、雄大な福智山の麓に位置し、創立130年を超える伝統を持つ学校です。保護者や地域との連携も深く、学校行事や P T A 活動も盛んに行われている。P T A 活動の内容としては、朝のあいさつ運動やもち米作り・稲刈り・餅つきなどがあり、地域・保護者の協力の下で行われている。また、地域の方々が参加してくださる除草作業などもあり、学校と地域が一体となり、児童の健全育成に取り組んでいる。	

1 事業のねらい

親子で目標を決め、取り組むことにより、親子のコミュニケーションを図るとともに学校と家庭が連携を深め基本的な生活習慣の定着を図る。

地域の方々にも参加を依頼し研修を行うことにより、学校と地域社会とが一体となって児童の健全育成に取り組む。

2 実施経過

5月10日	第1回実行委員会
5月18日	家庭教育宣言事業説明会
5月19日	P T A 総会で家庭教育宣言事業について概要を説明し、本年度、P T A 活動の大きな柱とすることを決定する。
5月30日	第2回実行委員会を開催し、講演会について協議する。
6月27日	家庭教育宣言 P T A 研修会（講演会）を開催。
6月28日	第3回実行委員会を開催し、第一期の取り組みについて協議する。
7月 3日	} 第一期の取り組み
7月10日	
9月 4日	} 第二期の取り組み
9月10日	
9月13日	第一期・二期の取り組みの状況について協議する。
9月20日	第4回実行委員会を開催し、給食試食会について協議する。
9月18日	} 事後アンケート調査・実施
9月21日	
10月17日	給食試食会・栄養士さんの講演

3 具体的な事業の実際

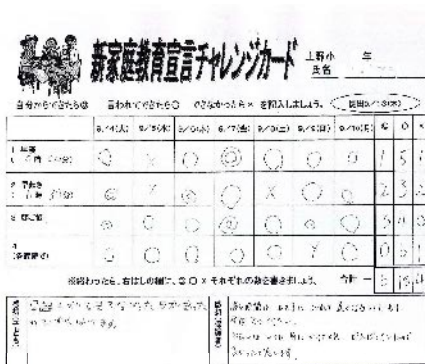
(1) 家庭教育宣言PTA研修会（講演会）

6月27日 授業参観の日に家庭教育宣言PTA研修会として講演会を行った。講師には、福岡県家庭教育アドバイザーの今中兵一先生をお招きし、「学校・家庭・地域で創る学びの世界」と題し、講演をしていただいた。

当日は、保護者だけでなく、地域の方々も参加をしていただき講演を聞くことができた。



(2) 家庭教育宣言の取り組み



①第一期の取り組みの結果（7月3日～7月9日）

早寝	◎52%	○21%	×27%
早起き	◎46%	○33%	×21%
朝ご飯	◎82%	○16%	×2%
その他	◎57%	○28%	×16%

②第二期の取り組みの結果（9月4日～9月10日）

早寝	◎45%	○28%	×27%
早起き	◎39%	○37%	×24%
朝ご飯	◎74%	○20%	×1%
その他	◎45%	○31%	×18%

（※ ◎自分からできた ○言われてできた ×できなかった）

③ 本校では、取り組みの内容を「早寝・早起き・朝ご飯・その他」とし、その他には、親子で話し合っ決めて決めた取り組み内容を各自実行することにした。第二期の取り組みの方が第一期よりも数字的に下がっている現象が見られた。これは、第二期が夏休み明け日だったことと2回目の取り組みで気のゆるみがあったのではないかと思われる。

1月の県下一斉の取り組みも是非行ってみたい。

(3) 給食試食会・講演会

10月17日授業参観日にあわせて、福智町赤池学校給食センターの栄養士さんを講師に招いて、給食試食会と講演会を行った。

朝ご飯の取り組みでは、ほとんどの子どもが食べていると答えているが、次は内容を充実させようということで「簡単にできる朝食レシピ」について講演をしていただいた。



4 成果

- 家庭教育宣言をPTA全体で取り組んだことで、学校・保護者・地域を巻き込んだ運動となった。
- 運動に取り組むことで、親子で話し合うきっかけができ、コミュニケーションが図られることになった。

5 課題

- 第一期の結果よりも、第二期の結果が低くなっている。これは、「自分から進んでやる」という部分が減っているため、マンネリ化や第二期が夏休み明けであることが考えられる。
- 今後、この取り組みをどのように継続していくか、また、研修会等の参加者・不参加者が固定しつつある。

単位 PTA 名	会 長 名	校 長 名
桂川町立桂川中学校父母教師会	藤川 珠磨子	山本 和生
実施形態	全校生徒（13学級） 生徒数388名	
実施率	実施率100%	
実施期間	平成19年7月1日 ～ 平成19年10月31日（4ヶ月間） ※取組は、一週間を1サイクルとし、3回実施（実施経過参照）	
単 P の特色	本校 P T A は、学校・家庭・地域と一体になって「地域の生徒は地域で育てる」という視点で生徒の健全育成に取り組んでいる。また、子どもの規範意識を高めるために、毎週の「あいさつ運動」や、非行防止のための「校外補導」、地域や家庭の教育力を高めるための「子育て講演会」や「教育シンポジウム」、「小中合同地域懇談会」等を様々な取組を地域と一体になって行っている。	


1 事業のねらい

本校の生徒の実態として以下のような課題が判明した。

- ① 基本的な生活習慣が身につけておらず、生活のリズムについて無関心な家庭がある。
- ② 規範意識が年々の低下してきており、あいさつをしたり、返したりという習慣が身につけていない。
- ③ 「食育」の重要性についての理解が低く、休日の際のコンビニ弁当の摂取や日常生活における朝食の未摂取が多い。
- ④ 部活動への参加や通塾等の理由により、家庭における手伝いをする場面が少なくなり、それに伴って家族の一員としての自覚が薄くなっている。同時に、家族内での談話等のコミュニケーションも希薄化している。

そこで、本事業のテーマを、「見つめ愛・話し愛・伝え愛」、愛言葉を「あいさつ・手伝い・朝ご飯」として取組を推進するとともに、家庭への帰属意識を高めながら、課題を克服していこうと考えた。

2 実施経過

6月 5日（火）	・ ・	PTA 理事会での原案審議・承認	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> あいさつ運動 校外補導 教育情報発信 </div> 
6月 8日（金）	・ ・	教育講演会の実施	
6月26日（火）	・ ・	PTA 理事会での活動計画の承認	
6月下旬	・ ・	啓発リーフレットの作成	
7月 6日（金）	・ ・	教育シンポジウムの実施	
7月中旬	・ ・	西日本新聞社「食卓の向こう側」（食育）	
7月23日（月）	・ ・	三者面談時において実施案の周知徹底	
	・ ・	第1回取組開始	
	・ ・	34全行政区地区懇談会（～25日）	
7月31日（火）	・ ・	朝食レシピ集作成開始	
8月20日（月）	・ ・	第2回取組開始	
9月 3日（月）	・ ・	第3回取組開始	
9月13日（木）	・ ・	アンケートの実施	
10月 5日（金）	・ ・	「我が家の簡単朝食レシピ集」の完成・配布	
10月中旬	・ ・	いじめ撲滅キャンペーンの実施	

3 具体的な事業の実際

(1) 研修会及び教育シンポジウムの実施



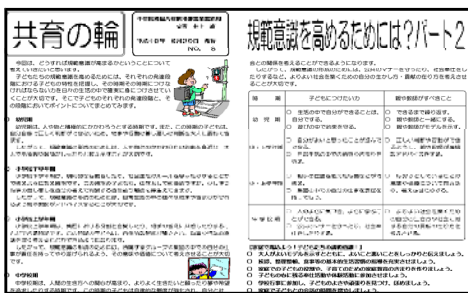
【教育シンポジウム「食卓の向こう側」】



【教育講演会】

「子育てに関しての貴重な情報を知ることができて勉強になった」、「食育の大切さが非常に理解でき、これからは気をつけようと反省した」、「次回も参加したい」と好評でした。

(2) 教育情報通信「共育の輪」及び「朝食レシピ集」の発行



【教育情報通信「共育の輪」】



【朝食レシピ集】

レシピ集の作成にあたっては、多くの保護者の方々に参加して頂き、栄養師の方も感心するほどの栄養価の高い朝食レシピが30品目以上、紹介されました。

「共育の輪」の内容は、規範意識の醸成だけではなく、基本的生活習慣の定着や、いじめ防止、学習意欲の向上等、内容は多岐にわたっています。

(3) 桂川中「“新”家庭教育宣言」の実施

第1回から第3回まで、「あいさつ、手伝い、朝ご飯」+α（家庭独自の目標）で取り組んだ。「家庭学習1時間」「丁寧な言葉遣い」「テレビの視聴1時間」「帰宅時間の厳守」「自分で起床」等、独自の目標を各家庭に掲げると共に、反省を行い、新たな目標の設定を行った家庭も数多くあった。

4 成果と課題（アンケート結果より）

【成果】

「進んで手伝いをするようになった」、「家庭教育を見直す機会になった」、「今後も継続していきたい」、「家族の一員としての自覚が高まった」などの肯定的な意見が多く、来年度以降も継続を望む家庭が多かった。

【課題】

- ・ 啓発活動を充実させるとともに、生徒だけではなく各家庭にまで取組の趣旨や活動を浸透させる方策を考えていく必要がある。
- ・ 一過性のものとせず、定期的、継続的な取組としていく必要がある。



【あいさつ運動】

生徒、保護者、地域の方々と一緒になって「あいさつ運動」を実施しています。

単位PTA名	会長名	校長名
みやこ町立節丸小学校PTA	木村美治	浦本陽子
実施形態	全校：7学級（特学1学級） 児童数：66人	
実施率	実施した児童：66人 実施率：100%	
実施期間	前期（8月20日～26日） 後期（11月10日～16日）	
単Pの特色	<p>本校は、旧豊津町の南部に位置し、中心には祓川が流れ、周囲には田園風景が広がっている。地域の人々は、人情味豊かで学校教育に関心が高く、学校行事や授業に対して協力的である。</p> <p>PTA活動としては朝の交通指導や親子での廃品回収（年3回）を実施している。収益金についてはPTA活動資金として役立てている。また、節丸アンビシャス広場と連携して田植え、稲刈りを実施。12月の餅つきではPTAとアンビシャス推進委員会と共催で地域を挙げての取り組みとなっている。</p>	

1 事業のねらい

- ・ 我が子に、こんな力を身につけてほしい…親の思いを子どもとともに話し合い、子どもの努力目標（宣言項目）を決め、親も協力して達成させる。
- ・ 節丸小学校 PTA 全員で同じ宣言項目（時間、内容については家庭で決める）に向かって達成できるように努力していく。

2 実施経過

○ 4月20日（金）	PTA 総会にて「家庭教育宣言」の趣旨説明
○ 6月 8日（金）	実行委員会にて実施内容・実施方法の検討
○ 8月20日（月）	第1回「チャレンジノート」の取り組み
～26日（日）	
○ 10月19日（金）	「教育講演会」の実施
	演題「お子さんを、賢く、確かに育てるために」
	講師 元田川市立金川小学校長 高橋 昭 朗 氏
○ 11月10日（土）	第2回「チャレンジノート」の取り組み
～16日（金）	
○ 12月 5日（水）	事後アンケート実施
○ 12月上旬～	実行委員会にてアンケート集約と分析
○ 2月	PTA 広報誌「せんだん」にてアンケート結果及び成果の広報

3 具体的な事業内容

<チャレンジノートの取り組みから>

○第1回

実施日：8月20日（月）～26日（火）

宣言項目：早寝、早起きをする（時間については親子で話し合って決める）

一日一度はお手伝いをする（内容については親子で話し合って決める）

チャレンジノート1

感想より

児童：できました。

保護者：今まで自分で起きたことがありませんでしたが、これを機会に自分で目覚まし時計をセットし、起床する習慣がつき親としてもうれしく思います

担任：りおちゃんはともしっかりしていて何でもできるので先生は安心しています

○第2回

実施日：8月20日（月）～26日（火）

宣言項目：早寝、早起きをする（時間については親子で話し合ってから決める）
朝ご飯を食べる

感想より

児童：今回は寝る時間はけっこう守れたと思います。

保護者：全体的に良く頑張ったと思います。家庭教育宣言が終わっても継続ができたらいいね。

担任：睡眠や朝食をとることがとても大切です。これを機会に習慣になるといいですね。

チャレンジノート2

<教育講演会>



日時：平成19年10月19日（金）

講師：元田川市立金川小学校長 高橋 昭朗 先生

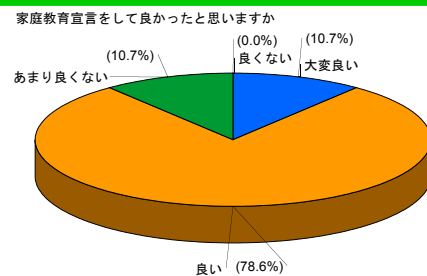
演題：お子さんを、賢く、確かに育てるために

子どもを賢く確かに育てるためには、自立の基盤である基本的な生活習慣を身につけさせ、子どもにあった生活リズムをきちんとさせることが大切である。また、心豊かな家族とのつながりをつくり、ほめて、認めて、「やる気」と「根気」を育てなければならないなど、具体例をあげながら分かりやすく講演していただきました。

<アンケート結果>

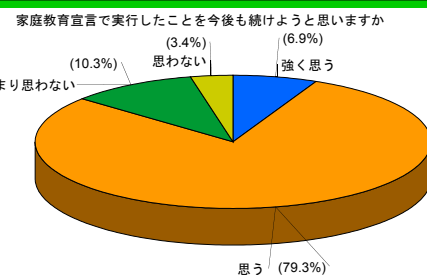
各家庭で実践した保護者の感想より

- ① 一つのことを一緒に取り組むことで子どもとたくさん話を話し合うことができました。
- ② 家族の大切さを考えさせられ自分たちのためになりました。
- ③ 自主的に行動できるようになり良かったです。今後も継続していきます。



4 成果

- チャレンジカードをPTA活動の取り組みとして全家庭で実施できたことで学校と家庭で一体化した取り組みを行うことができた。
- この取り組みを通して親子での会話が増えたとの感想が多く寄せられた。



5 課題

- 宣言が取り組みの期間のみに終わるのではなく継続し、習慣化する必要がある。

単位PTA名	会長名	校長名
上毛町立西吉富小学校PTA	岡崎 浩	高橋 良明
実施形態	全校 7 学級 (特学1学級) 100 名	
実施率	(実施した児童) 100 %	
実施期間	平成 19年 7月 1日 から 平成19年 11月 31日まで	
単Pの特色	<p>保護者の教育に対する関心が高く、PTA活動や子ども会育成会活動に熱心な地域である。さらに、学校の教育環境の整備にも協力的である。</p> <p>西吉富小学校PTAには、家庭教育委員会、安全委員会、保健食育委員会、広報委員会の4つがあり、それぞれの活動として安全委員会では「登下校の指導」や「校区の安全見廻り」、保健食育委員会では「資源の回収」「ふれあい料理教室」の実施、広報委員会では年間3回「広報誌：ハーモニー」を発行している。さらに、家庭教育委員会は、毎年、教育講演会の実施など家庭教育推進のために中心となって、いろいろな取組を行っている。</p>	

1 事業のねらい

近年、子どもたちを取り巻く環境が変化し、「朝ご飯を食べてこない子」や「睡眠時間が足りない子」など基本的な生活習慣が身につけていない子どもが本校でも増えてきている。さらに、共働きの家庭も多く、親子のかかわりが充分もてていないためか、精神的な原因から体調の不良を訴えてくる子どもたちもいる。

そこで、毎日の家庭生活を振り返り、見つめ直す中で、家族と一緒に活動し、子どもとのかかわりを深めていく家庭教育宣言を実施していきたいと考えた。

2 実施経過

4月20日(水)	PTA総会で、事業内容の説明と確認
5月25日(金)	PTA家庭教育委員会で、事業の年間計画について確認
6月13日(水)	PTA家庭教育委員会で、「家庭教育講演会」及び「家庭教育宣言」の実施内容及び方法について検討
7月17日(火)	家庭教育宣言ノートと家庭教育宣言の取組についてのお知らせ配布
7/21(金)～8/5(日)	第1期 家庭教育宣言の取組
8/27(金)～9/9(日)	第2期 家庭教育宣言の取組
9月12日(水)	家庭教育宣言ノートの集約と家庭教育講演会実施方法の検討
9月19日(水)	保護者への事後アンケートの実施
10月28日(日)	家庭教育講演会のお知らせを保護者、校区に配布
11月 8日(木)	家庭教育講演会(地域保護者)及びお話し会(児童)の実施
11月22日(木)	家庭教育講演会の反省とアンケートの集約
11月22日(木)	アンケートの集計とまとめ

3 具体的な事業の実際

(1) 家庭教育宣言の実施のお知らせ

家庭教育委員会が中心となり家庭教育宣言の取組を「お知らせ」を通してPTA全会員に呼びかけた。

西吉富小学校PTAでは、子どもたちと保護者で、共に行動できる活動に取り組みば「ふれあい」も深まり、家庭のあり方、家庭教育について考えることができるのではないだろうかということで、本年度、**家庭教育宣言**に、挑戦することになりました。

保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

＜家庭へのお知らせ＞

西吉富小学校PTA

新 家庭教育宣言に チャレンジしよう!

西吉富小学校家庭教育委員会

昨年、子どもたちを取り巻く家庭環境は大きく変わったといわれています。時間に追われ、ひとりで食事をする子どもたちの急増、家庭内でのコミュニケーションの不足など、多くの課題が生じています。

西吉富小学校PTAでは、これら課題について、『子どもたちと保護者で、共に行動できる活動』に取り組みば「ふれあい」も深まり、家庭のあり方、家庭教育について考えることができるのではないだろうかということで、本年度、「新」家庭教育宣言に、挑戦することになりました。保護者の皆様のご協力をお願いします。

【“新”家庭教育宣言について】

この新家庭教育宣言では、難しいことに挑戦するものではありません。

「今、家庭でできることを話し合って、実行してみよう!」というものです。家庭で、子どもと大人が、同じことに挑戦して、お互い声を掛け合って共感することが大きな目的です。長い夏休み、「家庭でいっしょに頑張ったよ」といえるようなことにチャレンジしてみましょう。(詳しい内容は、別紙をご覧ください)

【実施方法】

実施日を 決める。	チャレンジ 項目を決める	実施 (記録表に記入)	感想 (子どもへのメッセージなど)
--------------	-----------------	----------------	----------------------

※ 実施は2回 (1回に、7日間 続戦します)

第1回	7月21日～8月5日までの7日間	8月6日に提出
第2回	8月27日～9月9日までの7日間	9月10日に提出

※ 2回のチャレンジが終了しましたら用紙(記録表)は、各担任の先生に提出して下さい。

(2) 家庭教育宣言の実施

第1期の実施を夏休み前半の7月21日(金)～8月5日(日)に、第2期を夏休み後半から2学期始めの8月27日(金)～9月9日(日)にした。『親子で話し合っ、実行してみよう』を取組の目標として掲げ、「家庭のめあて」について親子で話し合いの場を持ち。各家庭で決めるようにして実施した。

第2期は、第1期をもとにもう一度、親子で話し合い、見直しをして取り組んで行くことで、意欲を高めるとともに、親子のふれあいの場を増やしていくようにした。

<家庭での取組の様子>



<家庭教育宣言ノートの記入例>

新 家庭教育宣言ノート		西吉富小学校		子どもの名前
(家庭のめあて)		年		いっしょに取組 家族の名前
期	家庭のめあて	月日		子どもの記録
1		曜日		
期		子ども 家族の人		
<small>※ まもれたときは ○ まもれなかったとき *</small>				
実施方法	実施日を決める。(7日間)	チャレンジ項目を決める	家庭記録(記録票に記入)	感想(子どもへのメッセージなど)
<第1期> 7月21日(金)～8月5日(日) (8月6日に開校)				

<家庭のめあての事例>

- ・ 家族にあいさつをする。
- ・ 食べたあとかたづけをする。
- ・ 自分でくつをそろえる。
- ・ 毎日、玄関をはわく。
- ・ 朝食を毎日きちんと食べる。
- ・ 毎朝犬の散歩をする。

<保護者から子どもへのメッセージ>

- ・ 毎日きちんとあいさつができたね。 きもちがよかったですね。これからもつづけていきましょう。
- ・ 食器の片付けが自分からできるようになりました。 すばらしいです。
- ・ 毎日よくがんばりました。 玄関がきれいだと気持ちよくすごせました。
- ・ 毎日きちんと食べることができましたね。 よくがんばりました。
- ・ 毎朝6時に起きて散歩。犬もよろこんでいたよ。 ありがとう。

(3) 家庭教育講演会の開催

- ・ 10月28日(日)「正平辰男」先生を招いて『子どもの生活体験をゆたかに!』をテーマに家庭教育講演会を開催した。子どもに多くの体験をさせることで、子どもの心を豊かにしていくことができること、体験活動を通して地域の人とのかかわりを持つようにしていくことの大切さを具体的な事例をいくつも提示してお話して下さった。

<「正平辰男」先生の講演>



<保護者の感想>

・ 通学体験学習という取組を初めて知った。地域や親子関係、夫婦のあり方を詳しく教えていただき、わかりやすかった。

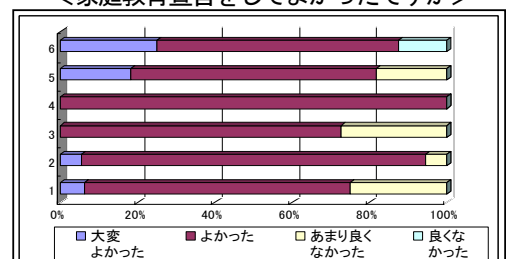
・ 小学校時代の子どもに、「型」をしっかり教えることは、親のつとめでもあり大人のつとめだと思います。次の世代をになう子どもたちを地域でしっかり育てた。

・ 少し危ないなと思ったこと、大変なことを何でも親が先にしてしまっ、子どもにはさせていなかったことが多いので、これからは、進んでいろいろな体験をさせてみたいと感じた。

4 成果

- ・ 保護者の理解と協力がなされ、アンケートの結果「取組をしてよかった」という意見が多く、事後の感想でも「親もあらためて成長する子どもの姿を見れた。」「子どもに、口やかましく言うだけがしつけではないと感じました。」という意見が出された。
- ・ 親子のかかわりの大切さを実感することのできる家庭教育宣言の実施、及び家庭教育講演会となった。

<家庭教育宣言をしてよかったですか>



5 課題

- ・ 家庭教育宣言を実施した期間だけでなく、継続した取組として親子のふれあい活動が行われるよう、これからのPTA活動を工夫していくことが大切だと思う。

(アンケート結果より)

単位 P T A 名	会 長 名	校 長 名
北九州市立小倉南特別支援学校 P T A	真 野 かおる	野 依 啓 多
実施形態	全 校	
実 施 率	実施した児童・生徒数：220人、実施率：100%	
実施期間	平成19年9月5日～11月12日	
単 P の特色	本校は、小・中学部及び高等部からなる知的障害児童生徒の学校である。会長を核に各学部の代表である副会長、役員がサポートして市立9特別支援学校と連携して活動している。特に障害者福祉面には精力的に取り組む。	

1 事業のねらい

「家庭教育を見直そう」の基本方針のもと、基本的な生活習慣の見直しと定着を図る。そのため、「北九州市子どもを育てる10か条」の認識を高め、日常生活の中で保護者や家族が意識的に行動をすることで家庭教育の質的な向上と障害のある子どもの生活力を向上することができる。それは、障害児の努力を求めるよりもまず障害児を取り巻く環境をよくすることでハンデを軽減することができ、社会参加の土壌作りになるからである。

そこで、家庭におけるコミュニケーションの状況をアンケート調査することにより、趣旨を確認し、家庭ごとの努力点の意識化を図る。学校は、校内外への支援組織「支援部」を中核にして教職員の協力体制を得る。そうすることで、家庭、学校が連携して生活習慣等、家庭教育を改めて見直すきっかけとなり、家庭の教育力の向上に繋がることを願うものである。

2 実施経過

平成19年9月 5日	P T A 役員会で、「家庭教育宣言」取り組みと実行委員会を組織し取り組む方針の原案を確認
9月20日	P T A 理事会（各学部・各学年代表が参加）にて、「家庭教育宣言」の説明と取り組み計画等の承認
9月24日	全保護者に取り組みの周知と「北九州市子どもを育てる10か条」を基にしたアンケート調査を依頼 アンケート対象は全家庭及び学校教職員
10月12日	「家庭教育宣言研修会」を実施 講師 心理カウンセラー 米倉けい子先生 テーマ 「元気になる子育て」
10月17日	学校支援部から、「家庭教育宣言研修会」を特集した「支援部だより」を発行
11月12日	アンケート結果の集約及び取り組み経過を全家庭、教職員に報告

3 具体的な事業の実施

(1) P T A 理事会で「家庭教育宣言」実施の承認

[実行委委員会から保護者への便りから]

市内小・中・特支の13校がこの事業に取り組み、本校が参加します。
事業の一環として下記の要領で講演会を行いたいと思います。すてきな講師をお招きし、子育てを頑張っているみなさんが、肩の力を抜いて今の自分をほめてあげられるような・・・そんな時間を共有できたらと思います。ぜひご参加下さい。・・・

(2)アンケートの実施と結果の広報

「北九州市子どもを育てる10か条」を基に15項目の「家庭教育宣言に関するアンケート」を実施し、結果の集約を保護者、教職員に配布した。

「子どもを抱きしめていますか」、「子どもを一日一回はほめていますか」、「子どもの気持ちを正面から受け止めていますか」、「子どもの将来の夢について、共に考えていますか」の項目は保護者、教職員とも2割以上が「いいえ」の回答であった。

*家庭教育宣言に関するアンケート

- ① 朝、子どもに「おはよう」とあいさつしますか？
- ② 家族に「ありがとう」と言っていますか？
- ③ 家族に「ごめんなさい」と言って謝りますか？
- ④ 子どもを1日1回は、ほめていますか？
- ⑤ 子どもが悪いことをしたときは、叱りますか？
- ⑥ 子どもを抱きしめていますか？

・・・・・・以下省略

(3)「家庭教育宣言研修会」の実施

「元気になる子育て」～今の自分をほめようよ～のテーマで米倉けい子先生にご講話いただいた。(右図は、通信の抜粋)

「ここにいてくれてありがとう」
「子どもが話したいときに聞いてあげよう」「ほめてあげよう～もちろんほめた自分もほめよう」
「親も弱音をはこう」など日常の子育てへの励ましをいただいた。



4 成果

今回の「家庭教育宣言」の取り組みは、従来から取り組んでいる家庭教育学級に加え、子育ての基本を再認識する機会となった。研修アンケートからも、心豊かに、ゆとりを持って、結果を焦らずに、前向きに子育てすること、共に支え合う仲間がいることを確認しあえたことが分かる。先ず障害児を取り巻く大人が頑張る意識が高まった。

5 課題

- 子供の変容を把握する観点の具体的な事前確認を行う。
- 保護者や教職員、スクールバス乗務員等、子供を取り巻く大人の連携を深める。

単 位 P T A 名	会 長 名	校 長 名
福岡市立野間中学校 P T A	船 越 正 生	中 野 賢 次
実 施 形 態	全 校 および 保 護 者 ・ 地 域 の 人 (生 徒 数 4 7 0 人)	
実 施 率	参 加 し た 生 徒 数 : 4 7 0 人、教 師、保 護 者 ・ 地 域 の 人 8 2 人 実 施 率 : 1 0 0 %	
実 施 期 間	平 成 1 9 年 7 月 1 1 日 (水) ・ 通 年	
単 P の 特 色	P T A で は 週 2 日 保 護 者 が 交 替 で、通 学 路 と 校 門 の 前 に 立 ち 「朝 の あ い さ つ 運 動」 や、生 徒 と お 年 寄 り と の 交 流 会 を 実 施 し、学 校 ・ 保 護 者 ・ 地 域 が 一 体 と な り、子 ども た ち の 健 全 育 成 に 取 り 組 ん で い る。そ ん な 環 境 の 中 で 育 つ 生 徒 た ち は 明 る く 落 ち 着 い て い る。	

1 事業のねらい

中・高生の自殺や家族を殺すニュースが後を断たず、犯罪の若年化が社会問題となっている。幸い本校の生徒たちは落ち着いている。「今の環境が如何に恵まれているか」を生徒・保護者ともに気付いてもらい、改めて自分・家族やまわりの人に感謝し「人の命の大切さ」について考える活動を実践する。

2 実施経過

5月10日 1年間の活動方針についての会議

子どもたちに、人を思いやる心を持ち、命の大切さを分かってもらいたい。
そうすることで「いじめや差別」のない環境をつくる。

沖縄でアジアの恵まれない子どもたちに支援活動をされている池間哲郎氏のことを知り、早急に詳しい情報収集を行うことにした。

5月15日 池間氏と連絡が取れ、学校側と講演会について協議

(講師の活動状況や講演の内容が要望にマッチしているかどうかについて)
但し、池間氏の場合、講演料に加え、沖縄からの交通費負担が高額である事が課題となる。

5月22日 池間氏と面会、次回来福の日程がわかり学校と日時の調整に入る。

6月 5日 理事会にて趣旨説明、7月11日開催の承認を得る。

聴講対象者に生徒を加える事も決まる。

6月 7日 準備打合せ(役割分担)

ポスター案内文の原案づくり

6月15日 案内文印刷・配布とポスター貼り(公民館・小学校など)

6月25日 受講申込者集計

7月11日 講演会 テーマ:「一生懸命生きることの大切さ」 講師:池間哲郎氏

日本に生まれ育ち、恵まれた環境で育った事に気付き、親に感謝する気持ちが深まった

7月13日 全生徒や保護者の感想文のまとめ・全校配布

- 1 1月 8日 子どもと親の会話ができる家庭づくり
親が「聴き上手」になろう・・・講演会で大勢に聞いてもらう方が効果的
- 1 1月15日 講演会の内容打合せ、長阿弥氏に講師依頼
- 1 1月29日 案内文作成・配布
- 1 2月14日 受講者数集計（会場の決定）
- 1 月15日 講演会 テーマ：「仲良しな親子関係について」 講師：長阿弥幹夫氏
「親が変わると子どもが変わる」ことがよく分かった。

3 具体的な事業の展開

池間哲郎氏を招いた講演会「一生懸命生きることの大切さ」は、親と子どもと一緒に講演を聞く、家族ぐるみの講演会とした。さらに、研修を深めるために、長阿弥氏を招き、講演会「親子の円滑なコミュニケーションについて」を実施した。



4 成果

成果についてアンケート調査は行っていないが、保護者が子どもの小さな変化を見逃すまいと『家庭内の会話』を大事にしよう。何かが変わったように思われる。

5 課題

参加した人だけの取組みでなく、保護者のまた地域を巻き込んで裾野を以下に広げるかが大きな課題であると考えます。

『家庭・地域の絆』の太さが、思いやりのあるところ豊かな子どもを育てることに繋がると信じている。